

第 6 号

2025 (R 7) 9. 1

編集発行

更生保護法人

がじゅまる沖縄

〒903-0803

那覇市首里平良町 1-29-4

T E L (098) 884-4091

F A X (098) 884-4073

がじゅまる便り

理事長あいさつ

がじゅまる沖縄
理事長 仲本 晴 男



当施設は今年度から金城雄施設長を迎えて、職員一同気持ちを新たに、入所者の支援に取り組んでおります。これまでご苦労された前任の比嘉寛氏には、心からお礼を申し上げます。

刑余者支援の取り組みは現在過渡期にあると言えます。全国的に更生施設入所者が減り、その背景には少子高齢化及び人口減少がありますが、その傾向は今後四〇年は続くと言われている。そうした中で入所者の高齢化、再犯率及び薬物依存者の増加に対する支援が必要となります。

とくに再犯率を減少させる取り組みは、刑余者の社会復帰支援をメインとする当施設においては重要です。具体的には退所後も利用者がスタッフ

を頼り、相談できる人間関係を作ることが大切で、そのためには入所中から信頼関係を築くことが要となります。

そして退所後の取り組みとしてフォローアップ事業を強化・拡大することです。刑余者支援を普及・啓発することも強化しなければならず、すぐできることとして賛助会員の拡大が急務だと考えます。私が視察したイタリアのトリエステでは、社会的弱者のなかに障がい者だけではなく、刑余者も含まれており、福祉・就労において積極的な取り組みがなされていました。懸案であった当法人の十年來の財政赤字も何とか見通しがついてきました。監事に就任いただいた森永伸夫氏には過去十年の経営状況を点検していただき、那覇保護観察所と協同で運営改善会議を立ち上げて取り組んでまいりました。

今後とも皆さまのご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

新施設長のあいさつ

施設長 金城 隆 雄



「更生保護施設がじゅまる沖縄」の施設長に就任して早五カ月が過ぎました。勉強勉強の毎日です。

保護司としては十年が経過したが、これまで毎月送られてきた積読状態の月刊誌「更生保護」を読み始めたり、インターネットでの調べ学習もやり始めています。

更生保護施設は、犯罪や非行をした人のなかには、頼るべき家族や縁故者がいなくて、社会復帰を実現することが難しい環境に置かれている人が数多くいます。このような人たちに宿泊場所や食事を提供しながら、就労支援を行うなど様々なアドバイスをして、自立に向けた支援を行うところです。

実際に職員と一緒に日々の業務に携わってみますと、入所している人たちが笑顔でコミュニケーションを図りながら規範意識の高揚と、働くことで社会の一員としての自覚と自信を持たせ、また、対価を貰うことで喜びを味わわせることが大切だと痛感しました。

入所者には、犯した罪にさいなま



れながら暮らしている人もいて、何気ない言葉にも、神経をぴりぴりしたり、落ち込んだり、怒ったりします。我々も気を付けながら言葉を選びながら対応する場面も多くあります。

職員は私より在職期間が長いだけあって、専門性もありプロであります。これから毎日彼らに学びながら精進していきたいと思います。

やっぱり、仕事は楽しい方がよいです。やりがいがある、しかも明るい雰囲気、笑顔のある施設にすることが私の任務かなと思います。

施設の南側には小川があつて、覗いてみたら、あまりにも綺麗な水が流れていてびっくりしました。メダカの仲間やオタマジャクシ、テナガエビがいて楽しそうに泳いでいます。久々にカワセミを見ました。美しい鳥です。首里の住宅地の中にこのような自然が息づいていることに驚きました。近いうちに入所者の皆と一緒に、この小川を清掃し、きれいな水と小さな生き物たちを守っていききたいと思っています。